

第346回

日文研フォーラム

International Research Center for Japanese Studies
The 346th Nichibunken Forum

二宮金次郎像から考える台湾教育史

講師 許 佩賢

台湾師範大学台湾史研究所（台湾）教授／日文研 外国人研究員

コメンテーター 松田利彦 日文研副所長・教授

司会 楠綾子 日文研教授

2023年1月17日(火)

18時30分～20時30分（開場18時10分頃）

場所…ハートピア京都 3階 大会議室

申込要・定員70名（抽選による）

入場無料

主催…大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国際日本文化研究センター

※今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、中止する場合がございます。最新情報は、日文研WEBサイトをご確認ください。

差し色の名前：● 莉安（かりやす）、● 紺青（こんじょう）

Articulating Taiwan's Educational History with Ninomiya Kinjiro Statues 二宮金次郎像から考える台湾教育史

1895年から1945年まで日本の植民地だった台湾では、1930年代後半から初等学校を中心として二宮金次郎の銅像を設置し始めました。その設置の背景は、同時代の植民地宗主国日本と共通する側面もあります。しかし、植民地支配下で教育機会に大きな制限を受けていた台湾人にとっては、金次郎像が象徴する「勤勉」や「向学心」は日本内地とは異なる意味を持っていました。この講演では台湾における二宮金次郎像を通じて植民地期の台湾教育史についてお話するとともに、戦前と戦後という時代を越えて台湾社会に折り重なる歴史の記憶について考える機会としたいと思います。



講師 許佩賢 台湾師範大学台湾史研究所 教授／日文研 外国人研究員

2001年1月、国立台湾大学文学部歴史学科博士。台湾師範大学台湾史研究所副教授を経て、2015年2月より現職の台湾師範大学台湾史研究所教授。2022年4月より国際日本文化研究センター外国人研究員を併任。専門分野は台湾近代史、教育史。主要論著に、(単著書)『植民地臺灣近代教育的鏡像：一九三〇年代臺灣的教育與社會』(衛城出版、2015年)、(編者・共著)『帝國的學校・地域の學校(台湾史論叢 教育篇)』(國立臺灣大學出版中心、2020年)、(論文)「日治時期臺灣の二宮金次郎銅像：學校の物質文化史考察之一面向」(『臺灣史研究』29(3)、中央研究院臺灣史研究所、2022年)、「清代到日治時期高雄地區學田的歷史變遷」(『師大臺灣史學報』13、国立台湾師範大学台湾史研究所、2020年)などがある。



コメンテーター 松田利彦 日文研 副所長・教授

京都大学文学部史学科卒業。京都大学博士(文学)。京都大学文学部助手、兵庫県立神戸商科大学専任講師、国際日本文化研究センター助教授、准教授を経て、2013年より教授、2020年より副所長。専門分野は日朝・日韓関係史。主要著作に、(単著)『日本の朝鮮植民地支配と警察—1905~1945年』(校倉書房、2009年)、(単著)『東亜聯盟運動と朝鮮・朝鮮人』(有志舎、2015年)、(編著)『植民地帝国日本における知と権力』(思文閣出版、2019年)、(共編)『帝国のはざまを生きる:交錯する国境、人の移動、アイデンティティ』(みづき書林、2022年)などがある。

申込方法

- ①催し物名 ②氏名(フリガナ) ③郵便番号・住所 ④電話番号(日中ご連絡がとれるもの)を明記のうえ、メールまたはハガキにてお申込ください。申込者多数の場合は、抽選を行います。
- 申込期日は令和4年12月22日(木) 正午必着。
- 結果は当落にかかわらず令和5年1月10日頃ハガキにてお知らせいたします。
- 複数名で参加希望の場合は、全員の必要事項(①催し物名 ②氏名(フリガナ) ③郵便番号・住所 ④電話番号(日中ご連絡がとれるもの))が必要です。

メールの場合：forum@nichibun.ac.jp

ハガキの場合：〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町 3-2

国際日本文化研究センター研究協力課「日文研フォーラム」担当宛

※お申込の為、お預かりした個人情報、大学共同利用機関法人人間文化研究機構が主催する催し物のご案内のみに使用します。

メール申込用
QRコード画面



京都府立総合社会福祉会館 ハートピア京都

【アクセス】

- 京都市営地下鉄烏丸線「丸太町」駅下車 5 番出口 (地下鉄連絡通路にて直結)
- 京都市バス、京都バス、JRバス「烏丸丸太町」バス停下車

お問い合わせ先

国際日本文化研究センター 研究協力課
〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町 3-2
TEL: 075-335-2078/2046
E-mail: forum@nichibun.ac.jp
https://www.nichibun.ac.jp/



次回 第347回

日文研フォーラム

詳細が決まり次第、
日文研 HP にてお知らせいたします。

日文研フォーラムとは
国際日本文化研究センター(日文研)に滞在中の外国人研究者による日本研究の成果を市民の皆さまにご紹介し、交流の助となることを主な目的とする催しです。1987年の設立以来、京都市中心部の会場で継続的に開催しています。